

2022.11.18

新規投資におけるサステナブルファイナンスの導入（キッズコーポレーション HD）

2022 年 7 月 29 日にお知らせした株式会社キッズコーポレーションホールディングス（以下「キッズ社」）への投資に際して導入した銀行借入について、第三者評価の取得を含むサステナブルファイナンス化の手続きが本日完了しました。

同借入は株式会社三菱 UFJ 銀行をアレンジャーとして組成された、株式取得を主な資金使途とする M&A ファイナンスです。今般、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）原則ⁱへの適合に関する第三者意見を取得しました。同時に、ソーシャルローンⁱⁱとしても「JCR ソーシャルローン評価」に基づく“Social 1”（5 段階中の最上位）の評価を取得しています。

SLL は、借り手のサステナビリティ戦略に沿った KPI とその野心的な目標水準であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、SPTs の達成状況に応じて金利等の条件が変動する仕組みのローンです。キッズ社は、子ども主体の保育を特色とする保育サービス企業で、全国の病院内・企業内保育所の運営受託を主な事業としています。今回の SLL では、受託契約の純増数と保育士の離職率について SPTs を設定しました。近年の ESG/SDGs 視点の高まりや人材不足を背景として、従業員の子育て支援に関する法人側の姿勢は変わりつつありますが、認可保育所に代表される定式化された受け皿だけでは対応しきれない、就労状況によって異なる保育ニーズ（夜勤への対応等）に対しては、具体的なソリューションが社会全体で不足しています。保育所運営受託では大手のキッズ社が企業基盤を強化し、これまで以上に受託契約数を増やしていくことは、キッズ社の企業価値向上のみならず社会課題の解決に直接つながることから、契約純増数の SPTs を設定しました。また保育士の離職率は、受託契約数の増加を支え、質の高い保育サービスを提供する観点で重要な指標であり、同じく SPTs を設定しています。

ユニゾンは創業時から、投資リターンに加えて経済的利益を超えたインパクトと社会的価値の追求を事業目的としています。私たちはバイアウト投資こそ ESG の取り組みを推進するために最適なガバナンス・モデルであると考えており、投資先企業ごとに事業内容・規模を踏まえた ESG テーマを設定した上で中期経営計画に織り込み、役職員の評価・インセンティブと連動させることを通じてインパクトの創出を目指しています。本件はその一環

であり、バイアウト投資と密接な関係にある M&A ファイナンスをサステナブルファイナンス、とりわけ SLL の形で組成することを通じて ESG の取り組みをより一層強力に推進するものです。

本件に関するお問い合わせ先：広報担当（03.3511.3900 / pr@unisoncap.com）

ⁱ 英国 Loan Market Association（欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。65 ヶ国以上約 800 機関が加盟）等が制定。JCR は日本の環境省による「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022 年版）」も併せて適合性を確認している。

ⁱⁱ 社会課題解決に資するプロジェクトに資金使途を限定したローン。英国 Loan Market Association 等が 2021 年に制定した国際ガイドライン「ソーシャルローン原則」を参照。